



第8回食育活動表彰  
農林水産大臣賞

教育関係者・事業者部門【企業の部】

農林水産大臣賞

## 株式会社千葉ジェッツふなばし

[ 千葉県 : 活動期間3年 ]

千葉ジェッツ子ども食堂、フードドライブ、子ども未来会議室、選手食堂での  
地元食材使用、自治体×民間で船橋ニンジンPR、地元食材で選手と料理体験

### 「“ささえる”からはじまる社会貢献」 をスローガンに『JETS ASSIST』

ブースター（ファン）やパートナー企業、協力団体の皆さまからのご支援や応援に対する恩返しをしたいという想いから、千葉ジェッツふなばしは『JETS ASSIST』を立ち上げ、社会貢献活動を行ってまいりました。「“ささえる”からはじまる社会貢献」をスローガンに、「千葉ジェッツふなばしを取り巻く全ての人たちとともにハッピーになる」という理念を基に、地域全体が元気になれるようお手伝いをしています。食育は、生きる上での基本であり、我々の活動に不可欠な要素です。我々の取組が広がり、世の中に良い影響を与えていけるよう今後も邁進してまいります。

### 「HEROs AWARD」をB.LEAGUE 所属チームとして初めて受賞

JETS ASSISTの取組の一つとして2020年から実践しているフードドライブが評価され、2021年12月にB.LEAGUE所属チームとして初のHEROs AWARDを受賞しました。フードドライブでは、回収した食材を、支援を要する団体や家庭に配布しています。また、HEROs AWARDの賞金を資金とし、「食」をテーマとした活動である子ども食堂も開催しました。



JA野菜販売体験



JAいちかわとの連携で制作した  
船橋にんじん段ボール



子ども食堂の外観



子ども食堂の食事風景



フードドライブ

### 自治体や地域と協力して 食育活動や社会課題解決を目指す

子ども食堂は自治体と協力し、ひとり親世帯の方へ優先的に開催案内の配信を行うことで、困窮しやすいと言われている世帯に確実にご参加頂けるよう工夫しています。また、地元食材を使ったメニューの提供による、地産地消、脱炭素化への貢献や、地元飲食店での開催による地域経済の活性化などにも寄与しています。



子ども食堂の食事



選手と田植え体験



地元食材で選手と料理体験



未利用食材を使用した商品開発



この度、第8回食育活動表彰の農林水産大臣賞を受賞しましたこと、大変光栄に思います。千葉ジェッツは「“ささえる”からはじまる社会貢献」をスローガンに『JETS ASSIST』を立ち上げ、様々な社会貢献活動を行ってまいりました。その活動の中で、地域の方々と連携し、子ども食堂の開設や、試合会場でのフードドライブの実施、そして、所属選手発案の農業体験や料理教室など、様々な「食に関わる活動」を行っております。これからも地域課題の解決を目指すべく、地域に根差した活動を続けてまいります。

株式会社千葉ジェッツふなばし  
代表取締役 田村 征也



第8回食育活動表彰  
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【企業の部】

消費・安全局長賞

まつもとやまが  
**株式会社松本山雅**

[長野県：活動期間6年]

スマイル山雅農業プロジェクト

ホームタウン内にある遊休農地を活用して青大豆「あやみどり」の栽培

農業従事者の高齢化や、後継者不足等による農地の荒廃が深刻化するなか、松本市も農地の有効活用や、地域の農業技術の継承などの課題に直面しています。そこで、株式会社松本山雅は、松本市の農業従事者、直売所、および障がい福祉サービス事業所と共同で「スマイル山雅農業プロジェクト」を発足しました。本活動では、地域の農家さん、障がい福祉サービス事業所の皆さま、行政の皆さま、ファン・サポーターの皆さま等、多くの方と一緒に協力し、松本市、安曇野市（あずみのし）、生坂村（いくさかむら）内にある遊休農地で青大豆「あやみどり」の栽培を行っています。



地域の子どもと選手が一緒に種まき



ガンズくんから保育園に大豆の種を提供

「遊休農地の活用」・「地域住民の交流活性化」・「青少年の育成」

松本市、安曇野市、生坂村内にある遊休農地を活用して青大豆「あやみどり」の栽培を行うことで、「遊休農地の活用」、「地域住民の交流活性化」、「青少年の育成」を図り、地域が直面する課題の解決にチャレンジしています。



選手が枝豆収穫



ホームゲームで採れたて枝豆の販売



あやみどりが豆腐に変身



親子で採れたての「あやみどり」や地元産野菜をトッピングしてピザ作り

育てた大豆は障がい福祉サービス事業所で選別して市内保育園等の給食で提供

育てた青大豆「あやみどり」は、障がい福祉サービス事業所の皆さまに選別していただき、地域の保育園、幼稚園、小学校の給食として提供されています。給食を通して子どもたちへ採れた大豆を食べてもらう機会を作れていること、障がい福祉サービス事業所の皆さまへ作業していただいた分の工賃をお支払いできていること、そして、課題であった遊休農地の解消に成功し、農家さんが喜んでくれていることなど、地域の循環を作りながら食育活動を行っています。



大豆の選別作業



農業×食育絵本の贈呈



元選手と給食であやみどりを食べます



この度は「消費・安全局長賞」をいただき、誠に光栄に思います。松本市様からの地域課題に対して取り組むことをきっかけに、他市町村へも取組が広まり、様々な方と力を合わせ、ここまで活動が広がってきたことについて、大変うれしく思っています。これからも、地域の皆さま、ファン・サポーターの皆さまと共に地域での活動を広げていきたいと思っております。

株式会社松本山雅  
代表取締役社長 神田 文之



第8回食育活動表彰  
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【企業の部】

消費・安全局長賞

## 株式会社伊藤園

[ 東京都：活動期間29年 ]

### 伊藤園ティーテイスター食育活動

#### お茶は日本の伝統的な飲み物

お茶は、日本の伝統的な飲み物として、古くから日本人の間で愛されてきました。伊藤園ティーテイスター食育活動では、「おもてなしの心」を大切に、お客さまの豊かな食生活に貢献する」をスローガンに掲げ、お茶を中心とした食育活動に取り組んでいます。すべての活動を組織的に、全国へ、また世界へ向けて行い、食育の課題に貢献できることが伊藤園ティーテイスター活動の強みです。



抹茶体験の様子

#### お茶の楽しみ方を一人でも多くの方に体験してもらおう事がティーテイスター活動

伊藤園ティーテイスター食育活動では、お茶の楽しみ方を一人でも多くの方に体験してもらうことを目的にセミナーや地域イベント、加工体験などを開催しています。お客さま自身がお茶を体験し、その魅力や楽しみ方を学ぶと同時に、日本文化の継承や茶農家・加工者さんへの貢献などにも繋がっています。今後は、学校を通じた国内活動の強化や、英語でのティーテイスター試験導入によるお茶の世界進出を目指します。



一般向け講習の様子



子ども向け体験の様子



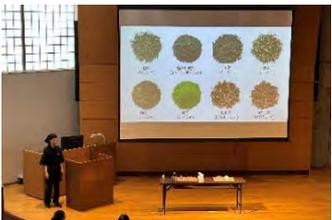
外国人向けのセミナー



外国人の方へのお茶のふるまい

#### お茶のいれ方・おいしさ・楽しみ方・健康性を共有

お茶は、おいしさに加え、体脂肪の分解や睡眠不足の改善等、健康食品としての側面も持ち合わせています。体験型や座学のセミナーを取り交ぜることで、幅広い人にお茶のいれ方、おいしさ、楽しみ方、健康性などの魅力を共有し、興味を持ってもらえるよう努めています。



お茶についての座学



小学校でのお茶体験



大茶会の様子



フライパンを使って緑茶をほうじ茶に



伊藤園では、『“おもてなしの心”を大切に、お客さまの豊かな食生活に貢献する』をスローガンに、食育活動を行っています。1994年より運営しているティーテイスター制度で約2,200人が本業と両立しながら、全国でお茶の啓発活動をしております。日本茶で皆さまの笑顔をつないでいけるようこれからも食育活動を続けてまいります。

株式会社伊藤園  
食育推進委員会事務局 小林 哲也



第8回食育活動表彰  
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【企業の部】

消費・安全局長賞

# 株式会社ライフコーポレーション

[ 東京都：活動期間18年 ]

## ライフ出前授業・親子食育体験教室

### 食べることの大切さを伝える 「食育体験学習」

“おいしい” “ワクワク” “ハッピー” をお届けするライフコーポレーションでは、地域の皆さまとともに持続可能で豊かな社会の実現を目指すべく、店舗近隣の小学生、園児を対象に食べることの大切さを伝える「食育体験学習」を行っています。イベントやゲームを通し、食べ物の働きや、不足しがちな野菜、果物の摂取量、食品ロスと環境問題など様々な食の知識を深めています。さらに、自社単独での取組にとどまらず、取引先様等とのコラボイベントも多数開催することで、食品メーカーのノウハウやコンテンツも活かしながら幅広く食育活動に取り組んでいます。



店舗での食育授業の様子



みんな真剣に取り組んでいます

### 野菜売り場でミッションに沿った野菜 を実際に探してもらおうゲームを実施

店舗で実施する親子向けのイベントでは、野菜を身近に感じていただくことを目的に、野菜売り場からミッションに沿った野菜を実際に探してもらおうゲームを実施しています。子どもたちが楽しく学びを深められるよう「参加型・体験型」を意識した授業を展開し、プログラムはマンネリ化しないよう、その時に合わせた情報や学校の要望などを取り入れ、定期的な見直しを行っています。



野菜を探すミッションゲーム



ミッションシートの内容



ビオラル店舗食育学習風景

### 食育インストラクターが学校へ出向いて 行う「出前型」及び「オンライン型」授業

2020年2月以前は、店舗にて「お買い物ゲーム」を実践していましたが、新型コロナウイルスの影響で行動制限が掛かってからは、講師が学校へ出向いて授業を行う「出前型」および「オンライン型」授業に切り替えました。これにより、活動を止めることなく実施回数を増やすことができ、2022年度には過去最高の25,949名にご参加いただけるまでに拡大しました。厳しい状況下に置かれても実施可能な授業内容を模索し、情勢に合った「食」と「地域貢献」を軸に、食育活動に取り組んでいます。



保育園での実践風景



食品ロス削減の必要性を  
授業で伝える



この度は、栄えある賞をいただき、部員一同大変嬉しく思っております。毎日のように各地の小学校・保育園を駆けまわり、食べることの大切さ・不足しがちな野菜摂取の重要性を子どもたちに伝えていきます。スーパーマーケットだからこそできる「食育活動」を続けることで、地域の子どもたちがより元気で健康的に生活できる一助となれば幸いです。

株式会社ライフコーポレーション  
サステナビリティ推進部一同